

昭和二十六年六月二十日

折尾驛立賣員労働争議

折尾驛立賣員労働争議

折尾驛立賣員労働争議

折尾驛立賣員労働争議

驛立賣従業員労働争議

折尾驛立賣従業員は豫てより左翼の永末清作、上岡利夫等を中心として北九州共同購買組合を組織し居りたるが最近永末が發起人となり門鐵局管内の立賣人を一丸としたる立賣従業員組合を結成すべく企圖し夫々準備中の處六月十日迄に小倉、行橋、直方、博多、鳥栖、折尾等の各驛にて約百名の賛成者を得たるを以て近く創立大會をなすべく計劃し居りたるが之を聞知したる營業人側は強硬に之が反對をなし遂に争議に立至つたのであるが結局警察當局の取締と門司鐵道局の側面工作により組合結成不承認を條件として解決したるが左翼思想分子の介在せる關係上今後の動向は注目せらる。状況左の通り

一、發生原因

折尾驛立賣人を以て組織せる北九州共同購買組合を改組し門